

# 日体大創立125周年記念式典 役員改選 新会長松田清孝氏就任

浜松日体中・高等学校校長(昭和50年卒)

[6/18(土)  
午後1時より]

深沢開催

# 日體 静岡県 同窓会報

(第三十一号)

発行  
日体大静岡県会報  
編集委員会  
発行日  
平成28年6月15日

## 益々進む大規模大学化

—母校日体大「スポーツ文化学部」新設—



日本体育大学静岡県同窓会

会長 松田 清孝

(昭50卒)

このたび、日本体育大学静岡県同窓会の会長を拝命することとなりました、昭和五十年卒の浜松日体中・高等学校の松田清孝でございます。

微力ではございますが、皆様のご支援を得て、歴代会長が築かれた同窓会の歴史と伝統を引き継ぎ、さらなる充実発展と、母校並びに学生の支援に向け、皆様と一丸になって臨む決意でありますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

はじめに、九州地区で発生した地震において被災された熊本・大分両県の皆様、さらに本学同窓の皆様に対しまして、静岡県同窓会として心からお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りしたいと思います。さて、去る四月三日には、大学の入学式に学校法人理事として出席し、壇上から入学をお祝いすることが出来ました。

今年は母校がめでたく創立百二十五周年を迎える年

にあたり、六月十八日には記念式典が開催されます。

日本体育大学は現在、体育学部四学科、児童スポー

ツ教育学部二学科、保健医療学部二学科の三学部・八学科となり、新年度から体育学部の定員を二〇〇名増員しております。

さらに、この会報がお手元に届く頃には、「スポーツ文化学部」の新設が文部科学省から認可され、平成二十九年度から四学部となり、四年後には学生総数八、〇〇〇人超の大規模大学となる見込みであります。

来年度には、北海道網走市に大学の付属高校として「高等支援学校」も開校する予定であり、国策としての大学改革が進む中で、母校日体大の妥協のない挑戦が続いているま

す。

二年前から毎年開催となつた「体育研究発表実演会」は、全国のファンの要請にこたえて二日間開催に改められ、昨年十一月、横浜アリーナは両日一万人を超す観客で満席となりました。テレビ等での特集もあって、エッサッサや集団行動は今や芸術の域に達した感があります。

母校の学生の活躍は心躍る快感があります。学生たちに元気をもらいながら、我々同窓生もそれぞれの立場で頑張り、学生たちを応援することで「質実剛健・団結和協」の日体魂が躍動し、二〇二〇年東京オリンピックでは日本を元気にする原動力になってくれるものと思います。

少子化の時代、様々な大学生が生き残りをかけ、スポーツや特色ある教育に入れる中で、母校日体大がいつまでも輝き続けるためには、私たちも同窓会活動の火を灯し続けなくてはなりません。日体大の持つ魅力の発信と体育・スポーツを通じた社会貢献を目指して、同窓生が一